

1 学年「総合的な探究の時間」の活動の様子が「広報とりで」に掲載されました！

1 年生は、「総合的な探究の時間」の中で、「SDG s の見地から取手市をよりよくする (SDG s × 取手)」をテーマに、グループ活動を行っています。取手市でも積極的に SDG s に関する取り組みを行っているということから、取手市の広報誌「広報とりで」で藤代高校の取り組みを特集していただきました。

取手市役所広報広聴課の方々が藤代高校へ何度も足を運び、生徒たちの活動の様子取材してくださいました。10 月 24 日 (土) 学校公開時の、取手市役所・茨城南青年会議所の社会人の方々との交流の様子を含め、3 ページ掲載されています。たくさんの写真から生徒たちの活動の様子をご覧ください。



掲載：広報とりで 12 月 1 日号 p.1-3

※「広報とりで」は取手市内各所に設置されているほか、取手市役所のホームページでも閲覧できます。

取手市役所ホームページ：

<https://www.city.toride.ibaraki.jp/koho/shise/kohokocho/kohoshi/kohotoride/2020backnumber/koho20201201.html>

広報とりで TORIDE

12.1

2020(令和2年)
NO.1306



高校生が探究、誰一人取り残さない未来

県立藤代高等学校 1 学年では、「取手^{エスディージーズ}×SDGs」をテーマに、SDGsのうち最も興味のある項目を「My SDGs」として選び、よりよい取手をつくるために何が必要かを探究しています。活動の中で、市総合計画や広報紙などを活用して地域について調べました。

今号では、藤代高校生徒の探究の様子や、目標達成に向けた市の取り組みなどを紹介します。誰一人取り残さない未来のために、一人一人ができることを考えてみましょう。

CONTENTS — 今号の主な内容 —

特集 私たちに身近なSDGs	2・3
新型コロナウイルス感染症の対策を	4
市からのお知らせ TORIDE CITY NEWS	5・6
プレミアム付商品券販売中	7
リサイクルブック開催	8



エスディー・ジョーズ 私たちに身近な SDGs

1 SDGs とは、よりよい社会をつくるための「目標」です

SDGs は、「サステイナブル デベロップメント ゴールズSustainable Development Goals」の略称で、「持続可能な開発目標」と訳されています。2015 年の国連総会で採択され、貧困や飢餓、教育、男女の平等、働きがいなど、2030 年までに達成すべき 17 項目の目標を掲げています。

国や企業、自治体だけではなく、個人レベルでも、「よりよい社会をつくる」ために重要なものです。市では、総合計画に SDGs の理念を盛り込んで市政運営をしています。

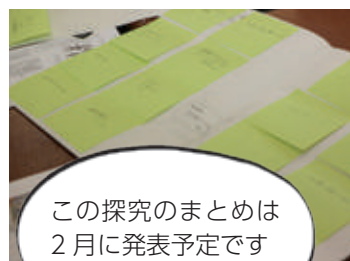


2 高校生も SDGs の目標達成のために勉強しています!

藤代高校 1 学年では、総合的な探究の時間の中で、よりよい取手をつくるための探究をしています。「貧困をなくそう」「住み続けられるまちづくりを」など SDGs のテーマごとに 45 のグループに分かれ、課題解決のために意見を出し合っています。



SDGs の視点
で探究中!



10 月 24 日に行われた公開授業では、茨城南青年会議所の会員と市職員約 30 人が、アドバイザーとして参加しました。生徒たちは、社会人から地域の課題や行政の考えなどを聞きながら話し合いを進めました。「資料を見ても分からなかったことが聞けた」「自分の考え方が広がった」などの声が上がりました。



3 市も目標達成を目指して取り組みを進めています！

市の最上位計画である「とりで未来創造プラン 2020」では、全ての重点施策に SDGs の目標を関連付け、その達成を目指した行政運営を進めています。市が行っているさまざまな取り組みのうち、特徴的な三つの事例を紹介します。

「とりで未来創造プラン 2020」を詳しく知りたい方は、コチラをご覧ください

☎ 政策推進課 ☎ 内線 1212



新しい時代を生きる子どもたちへ

誰一人取り残さない学習環境を提供するため、市立小・中学校に一人一台のタブレット端末を導入するなど、国が掲げる「GIGA スクール構想」を推進しています。

また、多様な価値観を学ぶ機会として、市の取り組みを紹介したり、藤代高校での公開授業のように、SDGs について一緒に考えるため、市職員を各校に派遣しています。

小・中学生に、それぞれ一台の端末が！



県内初の宣言なんだ！



「気候非常事態宣言」の表明

未来を担う世代にかけがえのない地球環境を引き継ぐために、市は 8 月 3 日、県内初・全国で 27 番目の自治体として、気候非常事態宣言を表明しました。

地球温暖化対策に取り組み、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すなど、気候変動の緩和とそれに適応するまちづくりを進めています。



多様なパートナーとの連携

東京芸術大学・JR 東日本東京支社・アトレ・市の 4 者は、協定を締結し、その取り組みの一環として昨年 12 月に「たいけん美じゅつ場 (VIVA)」を駅ビル内にオープンしました。

それぞれの立場から経験や資源を出し合い、アートを基軸として活力のある個性豊かな地域社会の形成と発展を目指します。

力を合わせると、大きな力になるね！



あなたも始めませんか？身近な SDGs

SDGs の目標達成には、私たち一人一人が 17 項目の中で何ができるかを意識して取り組むことが大切です。身近な社会課題を「自分ごと」として捉え、行動することが目標を達成する第一歩となります。

「持続可能な開発目標」というと難しそうに感じるかもしれませんが、SDGs は私たちの日常生活とつながっています。まずは自分や家族でできる身近な行動から始めてみましょう。



運動を習慣化する。健康診断、検診を定期的に受ける。



水道の蛇口をこまめに止める。油を流し台に流さずに拭き取る。



食べ残しをしない。食材の廃棄が少なくなるような調理をする。

自分の行動と SDGs のつながりを考えてみましょう